

# 新入生歓迎山合宿 in 御在所岳

京都産業大学探検部 鈴木健悟

日時：5月2日(水)～3日(木)

場所：三重県菰野町御在所岳

目的：新入生に登山というものを知ってもらう

参加メンバー20名(4回生1名、3回生9名、2回生2名、1回生8名)

C L 鈴木 健悟(3)

S L 笠井 高人(3)

班 長 藤田 琢也(3)

班 長 山本 修平(3)

記 録 宇津木 健(3)

記 録 橋崎 裕幸(2)

医 療 杉原 浩太(3)

医 療 松本 幹(3)

記録補 中安 祐貴(3)

記録補 溝口 昇太(2)

舟津 祥(4)

羽根 優介(3)

岩本 唯(1)

石田 智視(1)

千葉 弘貴(1)

杉山 智也(1)

川原 将司(1)

廣谷 潤(1)

湊屋 和也(1)

下田 拓未(1)

## タイムスケジュール

5月2日(水)

19:30 レンタカー借用

20:30 柘野別れサンクス集合

21:00 出発

22:10 草津市 ローソン着 千葉をひろう

22:30 出発

23:30 日野町 ローソンにて休憩

23:45 出発

24:40 道の駅菰野到着 テント設営

25:30 就寝

5月3日(木)

03:30 起床 テント撤収

04:15 出発  
 04:18 菰野町 サークルK 朝食買い出し  
 04:45 武平峠駐車場着 朝食 (登山出発点)  
 05:05 日の出 記念撮影  
  
 05:10 出発  
 05:25 休憩  
 05:45 休憩  
 05:55 休憩  
 06:02 休憩  
 06:20 御在所岳山頂到着  
 06:40 御在所広場  
 07:30 国見岳山頂  
 08:30 出発  
 08:54 休憩  
 09:00 九合目  
 09:10 御在所広場  
 10:27 駐車場帰着  
 11:40 希望荘絵野温泉 入浴  
 12:30 出発  
 13:35 亀八食堂  
 14:45 ドライブイン伊賀 昼食  
 15:30 出発  
 18:25 柘野別れサンクス到着 解散  
 19:30 レンタカー返却

#### 団体装備

装備品	数量	チェック	装備品	数量	チェック
6 テン	2		バーナーヘッド	2	
4 テン	1		ガス缶	3	
2 テン	1		お茶パック	1	
救急用具	2		コッヘル	1	

#### 個人装備

装備品	数量	チェック	装備品	数量	チェック
帽子	1		ライター・マッチ	1	
防寒着	適量		ロールペーパー	1	
上下服・着替え	適量		筆記用具・メモ帳	1	
下着・靴下	適量		ゴミ袋	適量	
登山靴・予備紐	1		行動食(朝飯)	-	
雨具(透湿性のもの)	1		非常食	-	
手袋・軍手	1		保険証	-	
タオル	適量		学生証	-	
洗面用具	適量		新聞紙	適量	

ザック	1		常備薬	適量	
ヘッドライト	1		水1リットル(個人用)	-	
予備電池	適量		水1リットル(団体用)	-	
ナイフ	1		食器等	適量	
腕時計	1		シュラフ	1	
コンパス	1		断マツ	1	
細引	1				

緊急連絡先

顧問 横山茂樹

在京連絡人 鷹野弘典

京都産業大学守衛課

菰野町役場

四日市西警察署

感想

鈴木健悟

2日前に行われた新歓行事で風邪が流行したのか、2名が急遽キャンセル、自分自身も近年稀にみるほどの風邪を引いてしまい、参加が出発直前まで危ぶまれたが、そこはなんとか気力で乗り越えることができた。当初の計画段階では新入生の参加を4~5名と計算していたが、結局9名もの新入部員が参加に手を挙げてくれ(うち1人は風邪でキャンセル)山班としてはかなりの大所帯による山行となった。レンタカーの予約等は問題なかったのだが、留学生が参加する、しない、参加するとしても自分の車で行くとか行かないとかで直前まで揉めてしまったのが計画段階での反省点だと思う。

当日は集合時間に遅れることもなくみんな集まってくれ、上々のスタートに。しかし、車が5台でそのうち2台はカーナビも地図もなく、当初決めていた隊列も、信号等で分断され、その2台が予定ルートを大幅に外れてしまうということがあった。最終的に時間通りに目的地へ到着できたものの、調整にかなり手間取ってしまい、やはり各車ごとにカーナビあるいは地図と、運転手の事前のルート調べは必ずやっておかなければならないと痛感した。また、複数台の車を連れて行く場合には、トランシーバーがあった方が便利だと思う。

ちなみに鈴鹿スカイラインでは走り屋集団に遭遇し、生まれて初めて生のドリフトを見ることができ、自分としてはかなりテンション上がったが、恐怖を覚えた部員もいたようだった。

いよいよ登山当日。天気にも恵まれ、絶好の登山日和。20名という事で、だいたい5人×4グループに分かれて登るということをしたが、結局バラバラになってしまった。早朝だったため他の登山客もなく、迷惑を掛けてしまうと言ったことはなかったが、今後のことを考えるとそこはしっかりとした方がいいと思った。

自分は荷物を軽くするため、最初から半袖1枚で登っていましたが、朝と言うこともあって気温が低い上に風が強かったため、体力だけを消耗してしまうという状態に陥ってしまった。

留学生組が多少遅れを取っていたものの、コースタイム通りに山頂に到着。今回はかなりルートが短くラクなコースで、現役の山班員にとっては物足りなかったかもしれない。御在所岳山頂で

は写真撮影だけにとどめ、となりの国見岳へ向かう。ここは景色の素晴らしいところなのだが、前回よりは霞んでしまいあまり良くはなかった。やはり空気も澄んで木々も紅葉に染まる秋ごろがベストだと思う。国見岳ではお茶を沸かしたり、雑談したり、昼寝をしたりと1時間ほどゆっくりし、下山した。

下山後は近くの温泉（希望荘絵野温泉）に入り、亀八食堂へ向かう。ルートは国道306号を選択したが、ゴールデンウィーク中とは思えないほど空いており、快適であった。また、30kmほどのルートだったが1台を除き、隊列を崩さずに目的地まで着くことが出来た。

しかし亀八食堂の駐車場では珍走団による集会が開かれているという完全に想定外のことが発生してしまい、店は予約してあったので一度入ったものの、結局断念した。亀八をかなり楽しみにしていた部員には申し訳なかったと思う。でも私に彼らを排除する力などあるわけがない。

帰りは珍走団を避け、名阪国道を通り、伊賀～甲賀経由で帰ることにした。昼飯は途中のドライブイン伊賀で取ったが、朝飯と昼飯との時間がかかりすぎてしまったので、亀八以外の選択肢も用意しておくべきだった。昼食後は県道4号から国道1号を通り京都へ向かって走ったが、奇跡的に渋滞なしで帰ることができた。最後のほうで運転に疲れ、危ない場面があったので、しっかりと休憩をとりたい。

今回は事故も怪我もなく（事件はあったが）、1回生にも好評のようだったので安心した。

ただし、次回合宿からはもっとゆとりのあるスケジュールで行動したいと思う。

#### 笠井高人

昨年の秋に一度登り、今回で2度目となる御在所岳であったが、全く違う山を登っているような感覚だった。

ルートが違うせいであろうか？メンバーが違うからだろうか？それとも歩行速度の違いであろうか？とにかくかなり新鮮な気持ちで歩いた。しかし気持ちは違えど、頂上に着いたときのあの爽快感はやはり御在所岳であった。御在所岳頂上付近や国見岳付近は例のごとく岩場で、それを見るとテンションが変に上がってしまった。個人的にあぁいうごつごつした感じが好きだ。景色は秋の真っ赤に染まったモノよりずっと劣ったが、1200mを越す高さからは見ごたえがあった。

今回は新生を連れての新歓行事だったので、あまり無茶は許されず、またいろんな意味で気を使った合宿であった。気を使ってあげなければならない立場であったのにもかかわらず、初日の仮眠時には運転での疲れのせいもあり真っ先に床についた事は若干反省している。まぁこれは勘弁をこう。また、登山の目的を「そこに亀八があるから」とまで豪語し、期待していた「亀八食堂」で食事を取れなかった事は非常に残念であった。次こそはリベンジを果たしたい。

#### 藤田琢也

今回は、新生を連れての初めての山合宿でした。かなりの大所帯で、集まったときは、ちょっとした不安を感じましたが結果として誰も怪我をすることなく、絶景を眺めることが出来ました。行き帰りの移動であんなことがなければ良い合宿だったと思います。

今度は昼出発にして、余裕のある日程で行きたいです。運転手の皆さん、お疲れさまでした。

#### 山本修平

新年度初の山合宿は多くの新生が参加してくれて概ね成功であったと思います。まずはやはり新歓行事ということで、より多くの新生の参加こそが第一だからです。これ以外でもほぼ定刻どおりに事が運んだこと、また当たり前ではありますが、大きな怪我などもなく、新生上回生

共々楽しめたであろうことを大いに満足しています。ただ一方で行きと帰りの車での移動時、少々ミスなどがあったので、そこが今後の課題かなと思います。以上これら全てと私的なものも踏まえ、今回の新歓山合宿は80点です！最後に一つ、次回からの山合宿にも今回同様に是非とも多くの新入生の参加を期待しています。

追記:よくも悪くも亀八では普段は出会えない(出会いたくない)人々とのふれ合い?もあり貴重な経験ができました(笑) 新入生の皆さん、ごめんなさい。もう二度とないと思うので、これにこりず参加してください

宇津木健

グループをいくつかに分けたのは登山の上では正解。二つどころか四つになってしまったが・・・。

だが、グループが分かれてしまったことで、メンバーが固定されたのでは？

話すという点から見ればグループ分けは微妙かも。

総合的に見て、新入生にも満喫してもらえたのではないかと思う。個人的にも楽しかったし。

朝食と昼食の間がやたら長いのはいかなものかと・・・。

亀八食堂は残念。安全第一で動けたのは。

運転手たちお疲れ様でした！

橋崎裕幸

スケジュールには少し無茶がありましたが、山行自体は天気も良く事故もなく、何よりも一回生が楽しんでくれたようでよかったです。走り屋やら族車集団との遭遇も、今では良いオモイデです。ええ。

杉原浩太

天候に恵まれ、途中汗ばむ陽気でもあり、山の気持ちよさを一回生に伝えられたと思う。出発日授業があるにもかかわらず、新入生の参加の多さに驚かされる。グループ分けされていたので同じ仲間と行きかえりの車で過ごせ、探検部での経験や各々の趣味を会話し互いに知り合えたのでよかった。しかし、往路の深夜に4時間近くの車での移動は、現役部員でさえつらいという行程であった。さらに、行楽シーズンは車使用をさけるべきではないか。

松本幹

とにかく運転が疲れました。でも頂上からの景色はとてもきれいで、登ったかいがありました。

中安祐貴

御在所岳は登山時間こそ少なかったものの、上り坂は急峻なものや岩だらけで不安定なものも多く、初心者が登山になれるためには非常に適した山ではないかなと感じました。

個人的には体力的にはちょうどか、ややきつかった面もありましたが、山頂からの見晴らしも、景色も非常に良く大変満足しています。

ただ、今回はスケジュールに余裕がなく若干強行的なものだったので、その点を改善し次回はもう少しゆとりが持てればなお良いかと思いました。

PS. 亀八食堂は災難でした

溝口昇太

御在所岳には一度ロープウェイで登ったことはありましたが、実際に自分の足で登ったことはあ

りませんでした。そのため今回の合宿は非常に感慨深いものでした。

歩く距離は短かったものの、岩登りや沢下り、崖の上を歩くなどといった、なかなか楽しい道のりでした。そこまで疲れることもなく、いいペースで登ることができ、非常に満足できました。頂上からの眺めは少しガスっていましたが、その分神秘的な趣がして、なかなかきれいでした。もし「次」があるのならば下から登ってみたいと思っています。

#### 舟津祥

この山行は天候に恵まれ、また事故もなく全員が登頂し、下山することができ、本当に良かった。特に国見岳山頂からの眺めは絶景の一言に尽きる。

ただ、大人数のためメンバーをいくつかのパーティーに分けていたのにも関わらず、それが守られていなかったのは事故がなかったとはいえ問題である。そのこともあり行動中、隊列の中で前後の人と大きく離れている場面も見られた。部内での登山人口が増えていることと併せ、今後、難易度の高い山を目指すのであれば、上で述べたことを始め基本を徹底しなければならないと改めて感じた。

#### 羽根優介

タクシーにて集合場所に向かい、合流。新しく入ったチン君がGFと一緒に参加とのこと。自分はオスギカーに乗ることとなり、楽しくバカ話をしながら走りだす。途中休憩をはさみながら、前進。栗東の1号と9号との分岐を過ぎた辺りで鈴木カーが止まり、後続の車両が追い越したり止まったりで大混乱。そしてそのまま1号線を前進してしまったグループも。取りあえず幹カーと鈴木カーと合流し、鈴鹿スカイラインへ。ここは前から走り屋の「聖地」として有名なところだったので心配していたのだが、案の定走り屋の大集団と遭遇。危険を感じつつ頂上まで何とか辿り着き、そのままキャンプ地の道の駅へ。1時前後着。そこで自分は車中泊。

翌朝3時半起床、4時半に出発。日の出を背にしながら、記念撮影を行い、登山開始。藤田組に入れられてしまい、経験不足、体力不足、装備不足が相まって途中でへばってしまった。高所恐怖症(軽い)のため、岩肌を登るところで足が震えて速度がガタ落ち。前には置いて行かれ、後ろに追いつかれた。そこを過ぎたらペースを上げ、集合地点に到着。先発組から遅れること7分。それから5、6分後に中間組が到着。意外と、というかかなり早く終わった印象。やはり峠から登り始めたからか。妙な新興神社を訪れた後、三角点にて記念撮影。その後ロープウェイ乗り場を過ぎて国見岳へ。国見岳側の岩地に腰をすえ、お茶を沸かす。ここから見る御在所は絶景で、雄大な岩壁がそそり立つ。長時間の休憩の後、下山開始。下りは最後に道を間違えるも、無事到着。ゼリーを振舞う。そして、希望荘絵野温泉へ。これはかなり体力の回復になった。その後、308号を伝って1号線、亀八食堂へ。しかし、ここでも走り屋に遭遇。それだけでなく、珍走団も。数百人いた感じが。結局ご飯を食べることができず、帰還することに。自分だけここから別行動となり、亀山駅に送迎していただいた後は実家に向けてJRで。

自分に関して、今回の合宿で思ったのは、まず体力のなさや装備のなさ。もし新入生歓迎合宿でなければ他の部員に迷惑をかけていた可能性もあるので、徐々に改善してゆきたいと思う。また、団体行動について思ったことは、経路の設定時に道路の状況を考えずに距離だけで選んでしまうことは危険であるということと、特に峠が有名なところは走り屋のたまり場の有無を事前に調べておかないと食事すらままならないということ。

#### 岩本唯

新歓山合宿はとても楽しかったです。思ったよりハードだったけど、ロッククライミングみたいな所もあったし、先輩や同回の人と仲良く慣れたのでよかったです。

亀八食堂は残念ながら食べられませんでした。めったに見られない光景と排気ガスでお腹がいっぱいになるという素敵な経験ができました。また機会があったらぜひ美味しいと評判の料理を食べたいと思います。

石田智視

装備が不安で格好に悩みました。

はじめてちゃんと山に登って見たら、すごくしんどかったです。

今回は軽い方と言っていたし、もっと体力つけないとなぁと思いました。

頂上に着くとすっきりして気持ちよかったです。

千葉弘貴

今回の合宿は、久々の登山ということで少し不安でしたが、案外何ともなくてホッとしています。

何より絶景ポイントに辿り着いた時は本当に感動しました。岩の上に立った時、結構足がすくんだので、訓練が必要だなと思いました。あと、亀八食堂で食べられなかったのは残念でしたが、あの珍事は恐らく一生忘れないでしょう（笑）

杉山智也

登りや下りで足はかなりつらかったんですけど、一番上まで登ったときの達成感と景色のすごさは最高でした！大変だった分達成感も大きくなると思うのでこれからいろいろな企画に参加していきたいです！

川原将司

今回の合宿で、良かったと思った点は、団体での登山は他の登山者の妨げになったりこちらのペースを乱されたりしないように、早朝の人がまばらな時間に登山の計画をしていた点です。それに、あれほど早くの登山は今まで経験してなかったので、かなり新鮮で登頂した時の気分は正に爽快でした。

悪かったと思った点は、行き交通手段とその連絡の不備です。参加者皆が無事帰れたので良かったのですが、行きの時間が深夜と言うこともあって車の中での不安は洒落になっていませんでした。

登山自体は先輩方も言っていた通りまだ楽な方だったと思います。ただ、他で色々あったのが気がかりですが、笑い話のネタが増えたのでそれはそれで良かったと思います。

廣谷潤

今回の合宿はメインの山登りより行き帰りに起こったアクシデントの方が印象に残った気がします。長時間車に乗るのは慣れていたので元々楽しみの一環でしたが夜中に峠で走り屋や帰りの食堂で族の大集会に遭遇するなど普段テレビでしか見たことのないようなある意味貴重な体験ができて良かったような良くなかったような微妙な心境です。

今回のメインの山登りの方は大分長い間動いてないため体力的に少々辛いものがあるかと予想していましたが軽めの道だったためダウンはせずに登りきれて良かったです。

合宿を終えて、体力をつけておくことと、上等なシュラフマットが欲しいと思いました。

メインと行き帰り、引くくるめて楽しい旅でした。

湊屋和也

眠る時間が少ない予定で初めは警戒していましたが山にいるとそんなことを忘れてしまうほど元

気に上ることが出来ました。景色はとても綺麗で、下山後のトラブルも含めて忘れられない思い出になりそうです。

下田拓未

登山は大変だったけど、雄大な自然の景色を仲間と共感できて良かった。  
トラブルもあったけど、いい思い出になったと思います。